

## アフロクァロン 20mg 錠

溶出試験 本操作は光を避けて行う。本品 1 個をとり、試験液に水 900 mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験開始 90 分後、溶出液 20mL 以上をとり、孔径 0.5 $\mu$ m 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10mL を除き、次のろ液 5mL を正確に量り、水を加えて正確に 10 mL とし、試料溶液とする。別にアフロクァロン標準品を 60 で 2 時間減圧乾燥し、その約 0.022g を精密に量り、アセトニトリル 2mL に溶かした後、水を加えて正確に 100 mL とする。この液 5mL を正確に量り、水を加えて正確に 50 mL とする。更にこの液 5mL を正確に量り、水を加えて正確に 10mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、波長 293nm における吸光度  $A_T$  及び  $A_S$  を測定する。

本品の 90 分間の溶出率が 85%以上のときは適合とする。

アフロクァロン ( $C_{16}H_{14}FN_3O$ ) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 90$$

$W_S$  : アフロクァロン標準品の量 (mg)

$C$  : 1 錠中のアフロクァロン ( $C_{16}H_{14}FN_3O$ ) の表示量 (mg)

アフロクァロン標準品 日本薬局方外医薬品規格を準用する。